

文 学 部

履 修 要 項

昭 和 61 年 度

駒 澤 大 學

学 年 暦

前 期

- 4月8日(火) 入学式(学部・短大)
- 7日(月) } 新入生オリエンテーション
- 11日(金) }
- 9日(水) } 在校生成績発表(学部・短大)
- 10日(木) }
- 9日(水) } 在校生身分登録(学部・短大)
- 19日(土) }
- 10日(木) } 体育実技Ⅱ種目選択届受付
(学部2年次生)
- 11日(金) }
- 12日(土) 前期授業開始
- 12日(土) }
- 19日(土) } 成績質疑応答
- 21日(月) }
- 24日(木) } 履修届受付(学部・短大)
(学部により受付日が異なる)
- 5月13日(火) } 春季健康診断
(2・3・4年次生対象)
- 22日(木) }
- 26日(月) } 卒業論文論題受付
(締切日は正午まで)
- 6月10日(火) }
- 7月5日(土) } 外国語指定届受付(仏教・文(除英
米文)・法学部・短大・英文の
1年次生及び経済学部の2年次生)
- 11日(金) }
- 7月10日(木) } 中間試験(授業平常通り)
- 16日(水) }
- 16日(水) } 前期授業最終日
- 17日(木) } 前期定期試験(前期終了科目)
(授業休講)
- 18日(金) }
- 19日(土) 夏季休暇第1日
- 19日(土) } 体育実技Ⅱ集中授業・シーズンコース
(テニスA)
- 23日(水) } (学部2年次生)
- 24日(木) } 体育実技Ⅱシーズンコース
(テニスB)
- 28日(月) } (学部2年次生)

後 期

- 9月8日(月) } 補講期間
- 13日(土) }
- 12日(金) 前期定期試験欠試届(追試申込)
受付締切

- 16日(火) 後期授業開始
- 17日(水) }
- 18日(木) } 前期定期試験成績発表及び
再試験申込受付
- 25日(木) }
- 30日(火) } 前期追・再試験(授業平常通り)
- 10月1日(水) }
- 3日(金) } 秋季健康診断(1年次生対象)
- 3日(金) }
- 4日(土) } 専攻コース指定届受付
(歴史・社会学科1年次生)
- 13日(月) }
- 14日(火) } 前期追・再試験成績発表
- 15日(水) } 第104回開校記念日(全学休業)
- 11月12日(水) }
- 14日(金) } 転部科試験願書受付
- 28日(金) } 転部科試験
- 12月4日(木) }
- 12日(金) } 編入学試験願書受付
- 10日(水) } 卒業論文受付締切(正午)
- 19日(金) } 冬季休暇第1日
- 19日(金) } 体育実技Ⅱ集中授業コース
(学部2年次生)
- 23日(火) }
- 22日(月) } 編入学試験
- 昭和62年
- 1月8日(木) 後期授業再開
- 14日(水) 後期授業最終日
- 16日(金) }
- 27日(火) } 定期試験(専門・基礎・教職科目)
- 28日(水) }
- 2月5日(木) } 定期試験(一般・外国語・保健体育
科目)
- 6日(金) } 卒業論文口頭試問
- 7日(土) } 定期試験欠試届(追試申込)受付締切
- 16日(月) } 体育実技Ⅱシーズンコース
(スキーA・B)(学部2年次生)
- 20日(金) }
- 19日(木) } 成績発表及び追・再試験申込受付
(学部4年次生・短大生)
- 20日(金) }
- 25日(水) } 追・再試験(学部4年次生・短大生)
追試験(学部1・2・3年次生)
- 3月3日(火) }
- 19日(木) } 卒業者名簿発表
- 25日(水) } 卒業式(学部・短大)

目 次

I	単位制と学年制	(2)
1.	単位制と学年制	(2)
2.	授業科目の単位計算	(2)
3.	授業科目の区分	(2)
II	卒業に必要な単位数と卒業論文	(3)
1.	卒業に必要な単位数	(3)
2.	卒業論文	(14)
3.	学 士 号	(14)
III	授業科目の履修方法	(15)
1.	一般教育科目の履修方法	(15)
2.	外国語科目の履修方法	(17)
3.	保健体育科目の履修方法	(20)
4.	基礎教育科目の履修方法	(21)
5.	専門教育科目の履修方法	(21)
6.	随意科目の履修方法	(46)
7.	再履修科目の履修方法	(46)
	※コード番号について	(47)
IV	履修科目の登録（履修届）とその作成順序	(49)
1.	履修科目の登録	(49)
2.	履修届記入上の注意	(50)
3.	履修届の作成順序	(51)
V	試験および成績評価	(53)
1.	定期試験	(53)
2.	中間試験	(53)
3.	追・再試験	(53)
4.	受験心得	(53)
5.	成績評価・単位認定	(54)
6.	試験時間	(54)
VI	進級について	(55)
VII	クラス制およびクラス主任	(56)
VIII	教職課程・資格講座	(56)
IX	事務取扱いについて	(57)
X	届書・願書について	(58)
XI	各種証明書取扱い窓口	(59)
	試験実施規程（抜萃）・進級規程・進級基準	(60)
	講 義 内 容	(65)

I 単位制と学年制

1. 単位制と学年制

授業科目の履修は「大学設置基準」に基づく単位制によって行う。単位制とは、各入学年度によって定められた一定の基準にしたがって授業科目を履修し、試験に合格することによってその授業科目に与えられている単位を修得していく制度である。卒業所要単位を修得するまでの在学期間は4年以上（7カ年をこえてはならない）である。

また、単位の修得を体系的かつ合理的に進めるために、各年次において必修すべき科目と選択すべき科目が配当されている。

2. 授業科目の単位計算

授業科目の単位数は次のような基準によって定められている。

1単位とは1科目につき45時間を通じて行う学修活動のことである。この45時間の学修活動は教室内における授業時間と教室外で学生各自が自主的に行う自習時間からなっていて、授業時間と自習時間の割合は、授業科目によって異なっている。

3. 授業科目の区分

授業科目は次のように区分される。

1. 一般教育科目（人文分野・社会分野・自然分野）
2. 外国語科目（第1外国語・第2外国語）
3. 保健体育科目（講義・実技）
4. 基礎教育科目（必修科目）
5. 専門教育科目（必修科目・選択科目）
6. 随意科目（卒業に必要な単位に含まれない科目）

(a) 必修科目……必ず履修しなければならない科目

(b) 選択必修科目……数科目の中から所定の科目数または単位数を選び、必ず履修しなければならない科目

(c) 選択科目……自由に選び履修できる科目

Ⅱ 卒業に必要な単位数と卒業論文

1. 卒業に必要な単位数

国文学科

A. 60年度以降入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	28	} 128以上
	社会分野	2	8		
	自然分野	1	4		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	2	2		
基礎教育科目		3	12	12	
専門教育科目	必修	12	36	72	
	選択		28		
	卒業論文(必修)		8		

B. 59年度以前入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	28	} 128以上
	社会分野	2	8		
	自然分野	1	4		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	1	2		
基礎教育科目		3	12	12	
専門教育科目	必修	12	36	72	
	選択		28		
	卒業論文(必修)		8		

英米文学科

A. 60年度以降入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	4	16	28	} 130 以上
	社 会 分 野	2	8		
	自 然 分 野	1	4		
外国語科目	第 1 外 国 語	5	10	14	
	第 2 外 国 語	2	4		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	2	2		
基 礎 教 育 科 目		5	12	12	
専門教育科目	必 修	7	28	72	
	選 択		36		
	卒業論文(必修)		8		

B. 58・59年度入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	4	16	28	} 130 以上
	社 会 分 野	2	8		
	自 然 分 野	1	4		
外国語科目	第 1 外 国 語	5	10	14	
	第 2 外 国 語	2	4		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		5	12	12	
専門教育科目	必 修	7	28	72	
	選 択		36		
	卒業論文(必修)		8		

C. 57年度以前入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	4	16	28	} 130 以上
	社 会 分 野	2	8		
	自 然 分 野	1	4		
外国語科目	第 1 外国語	5	10	14	
	第 2 外国語	2	4		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		5	12	12	
専門教育科目	必 修	6	24	72	
	選 択		40		
	卒業論文(必修)		8		

地 理 学 科

A. 60年度以降入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	3	12	32	} 128 以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外国語科目	第 1 外 国 語	4	8	12	
	第 2 外 国 語	2	4		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	2	2		
基 礎 教 育 科 目		2	8	8	
専門教育科目	必 修	6	16	72	
	選 択		48		
	卒業論文(必修)		8		

B. 59年度以前入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	3	12	32	} 128 以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外国語科目	第 1 外 国 語	4	8	12	
	第 2 外 国 語	2	4		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		2	8	8	
専門教育科目	必 修	6	16	72	
	選 択		48		
	卒業論文(必修)		8		

歴史学科

A. 60年度以降入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	36	} 128以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	2	2		
基礎教育科目		1	4	4	
専門教育科目	必修	8	32	72	
	選択		32		
	卒業論文(必修)		8		

B. 59年度以前入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	36	} 128以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	1	2		
基礎教育科目		1	4	4	
専門教育科目	必修	8	32	72	
	選択		32		
	卒業論文(必修)		8		

社会学科

〔社会学コース〕

A. 60年度以降入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	3	12	32	132以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	2	2		
基礎教育科目		3	12	12	
専門教育科目	必修	12	48	72	
	選択		16		
	卒業論文(必修)		8		

B. 57～59年度入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	3	12	32	132以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	1	2		
基礎教育科目		3	12	12	
専門教育科目	必修	12	48	72	
	選択		16		
	卒業論文(必修)		8		

〔社会学コース〕

C. 56年度以前入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	3	12	32	} 132 以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外国語科目	第 1 外 国 語	4	8	12	
	第 2 外 国 語	2	4		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		3	12	12	
専門教育科目	必 修	8	32	72	
	選 択		32		
	卒業論文(必修)		8		

〔社会福祉コース〕

A. 60年度以降入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	3	12	32	} 132 以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外国語科目	第 1 外国語	4	8	12	
	第 2 外国語	2	4		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	2	2		
基 礎 教 育 科 目		3	12	12	
専門教育科目	必 修	12	48	72	
	選 択		16		
	卒業論文(必修)		8		

B. 57～59年度入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	3	12	32	} 132 以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外国語科目	第 1 外国語	4	8	12	
	第 2 外国語	2	4		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		3	12	12	
専門教育科目	必 修	12	48	72	
	選 択		16		
	卒業論文(必修)		8		

〔社会福祉コース〕

C. 56年度以前入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	3	12	32	} 132以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		3	12	12	
専門教育科目	必 修	9	36	72	
	選 択		28		
	卒業論文(必修)		8		

〔心理学コース〕

A. 60年度以降入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人文分野	3	12	32	} 132以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	2	2		
基 礎 教 育 科 目		3	12	12	
専門教育科目	必 修	8	28	72	
	選 択		36		
	卒業論文(必修)		8		

B. 57～59年度入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人文分野	3	12	32	} 132以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		3	12	12	
専門教育科目	必 修	8	28	72	
	選 択		36		
	卒業論文(必修)		8		

(心理学コース)

C. 56年度以前入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人文分野	3	12	32	} 132以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		3	12	12	
専門教育科目	必 修	11	38	72	
	選 択		26		
	卒業論文(必修)		8		

2. 卒業論文

卒業論文は、あらかじめ自己の研究目標をたて、2年次以降その研究目標に関連する適当な選択科目を履修し、4年次で提出しなければならない。提出された卒業論文（1部）は審査の上、合格者には8単位を与える。

イ. 論題提出について

- (1) 論題は所定の用紙「卒業論文論題届」に楷書で正確に記入の上、指導教授の承認印を受けて提出すること。
- (2) 提出された論題の変更は原則として認めない。

論題提出期間 5月26日(月)～6月10日(火) 正午まで(教務部⑥番窓口)

ロ. 論文作成について

- (1) 論文作成にあたっては常に指導教授に相談して、その指導を受けなければならない。
- (2) 論文は提出した論題により作成すること。
- (3) 論文は所定用紙(大学売店にて販売)を使用すること。
- (4) 論文は楷書でていねいに書くこと。
- (5) 論文の枚数・表紙・体裁等については別に指示する。

ハ. 論文提出について

- (1) 論文は論題受付印のある「卒業論文審査願」とともに提出すること。
〔提出期間に遅れたとき、又は受業料その他の学費を納入していない場合は受理しない。〕
- (2) 論文は誤字・脱字・内容等について再点検し、提出すること。

論文提出期間 12月1日(月)～12月10日(水) 正午まで(教務部⑥番窓口)

ニ. 論文審査について

論文は指導教授によって審査され、論文の内容について口頭試問を行い可否を判定する。

口頭試問日 2月6日(金)

3. 学 士 号

大学に4カ年以上(7カ年をこえてはならない)在学し、卒業に必要な単位を修得した者には卒業証書を授与し、次の称号が与えられる。

国 文 学 科	}	文 学 士
英 米 文 学 科		
地 理 学 科		
歴 史 学 科		
社 会 学 科		

Ⅲ 授業科目の履修方法

※北海道教養部では授業科目等に多少の変更を生ずる場合がある。

授業科目履修上の注意

- イ. 授業科目は、教授会の定めるところに従い各学年に配分する。ただし、随意科目はこの限りではない。
- ロ. 授業時間表の備考欄に番号が指定された科目は本人の学生番号のクラスで履修すること。（再履修または指定された学年で履修できなかった場合はこのかぎりではない）
- ハ. 各学年に配当された授業科目は、当該学年に限り履修することができる。ただし、下級学年に配当された授業科目を上級学年において履修することはさしつかえない。
- ニ. 各学年の履修科目数の最低及び最高限度は、教授会の定めるところによる。
- ホ. 一度単位の認定を受けた授業科目は、再度履修しても認定されない。

1. 一般教育科目の履修方法

- イ. 一般教育科目は1年次および2年次の2年間に人文分野・社会分野・自然分野の各分野から各学科の定められた科目数・単位数を履修しなければならない。
- ロ. 各学科「宗教学Ⅰ」を1年次「宗教学Ⅱ」を2年次で必修とする。
- ハ. 各学科2年次までに所定の科目数・単位数を修得していなければならない。

一般教育科目の卒業所要単位数

学科	分野	人文分野	社会分野	自然分野	計
国文学科		16(4)	8(2)	4(1)	28(7)
英米文学科		16(4)	8(2)	4(1)	28(7)
地理学科		12(3)	12(3)	8(2)	32(8)
歴史学科		16(4)	12(3)	8(2)	36(9)
社会学科		12(3)	12(3)	8(2)	32(8)

※（ ）内の数字は科目数

一般教育科目の授業科目

分野 学科	人文分野			社会分野			自然分野		
	授業科目	単位	修得単位	授業科目	単位	修得単位	授業科目	単位	修得単位
国文学科	宗教学Ⅰ (1年次必修)	4	「宗教学Ⅰ・宗教学Ⅱ」を 含む4科目 16単位 選択必修	法学憲法 (日本国憲法 2単位を含む) (2年次)	4	2科目 8単位 選択必修	自然科学概論	4	1科目 4単位 選択必修
	宗教学Ⅱ (2年次必修)	4		経済学	4		心理学	4	
	哲学	4		社会学	4		人類学	4	
	論理学	4		地理学	4				
	歴史学 (日本・西洋)	4							
英米文学科	宗教学Ⅰ (1年次必修)	4	「宗教学Ⅰ・宗教学Ⅱ」を 含む4科目 16単位 選択必修	法学憲法 (日本国憲法 2単位を含む)	4	2科目 8単位 選択必修	自然科学概論	4	1科目 4単位 選択必修
	宗教学Ⅱ (2年次必修)	4		経済学	4		心理学	4	
	哲学	4		社会学	4		人類学	4	
	論理学	4		地理学	4				
	歴史学 (日本・西洋)	4							
地理学科	宗教学Ⅰ (1年次必修)	4	「宗教学Ⅰ・宗教学Ⅱ」を 含む3科目 12単位 選択必修	法学憲法 (日本国憲法 2単位を含む)	4	3科目 12単位 選択必修	数学	4	2科目 8単位 選択必修
	宗教学Ⅱ (2年次必修)	4		経済学	4		物理学	4	
	哲学	4		社会学	4		化学	4	
	文芸学 (日本・西洋)	4		文化人類学	4		生物学	4	
歴史学科	宗教学Ⅰ (1年次必修)	4	「宗教学Ⅰ・宗教学Ⅱ」を 含む4科目 16単位 選択必修	法学憲法 (日本国憲法 2単位を含む)	4	3科目 12単位 選択必修	自然科学概論	4	2科目 8単位 選択必修
	宗教学Ⅱ (2年次必修)	4		経済学	4		地学	4	
	哲学	4		社会学	4		心理学	4	
	論理学	4		地理学	4		人類学	4	
	文芸学 (日本・西洋)	4							
社会学科	宗教学Ⅰ (1年次必修)	4	「宗教学Ⅰ・宗教学Ⅱ」を 含む3科目 12単位 選択必修	法学憲法 (日本国憲法 2単位を含む)	4	3科目 12単位 選択必修	自然科学概論	4	2科目 8単位 選択必修
	宗教学Ⅱ (2年次必修)	4		政治学	4		生物学	4	
	論理学	4		経済学	4		地学	4	
	歴史学 (日本・西洋)	4		地理学	4		人類学	4	

教員免許状を取得しようとするものは「法学憲法」を必修とする。

※ 国文学科の「論理学」は56年度以前入学生は1年次必修とする。57年度以降入学生は選択必修とする。

※ 「宗教学Ⅰ」の授業は月曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の学生手帳を参照）で行なう。

2. 外国語科目の履修方法

外国語科目は英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語の6カ国語が開講されている。これらのうち英語と、入学手続の際に指定した外国語の2カ国語を履修することになり、その2カ国語を1年次および2年次（英米文学科は3年次）において必要な科目数・単位数を必ず履修しなければならない。

第1外国語

学 科		国文学科		英米文学科		地理学科		歴史学科		社会学科	
		科目数	単位	科目数	単位	科目数	単位	科目数	単位	科目数	単位
1	年次	2科目	4	2科目	4	2科目	4	2科目	4	2科目	4
2	年次	2科目	4	2科目	4	2科目	4	2科目	4	2科目	4
3	年次	—	—	1科目	2	—	—	—	—	—	—

第2外国語

学 科		国文学科		英米文学科		地理学科		歴史学科		社会学科	
		科目数	単位	科目数	単位	科目数	単位	科目数	単位	科目数	単位
1	年次	2科目	4	2科目	4	2科目	4	2科目	4	2科目	4

1年次の履修

6カ国語のうち英語1G・1Rの2科目と入学手続の際に指定した外国語1G・1Rの2科目の計4科目8単位を必修とする。

授 業 科 目	単 位	科 目 内 容	履 修 科 目 数	備 考
英 語 1G	2		} 1G・1R 2科目を必修とする。ただし1Gは英会話Iまたは英語LLIに代替できる。 (ただし英米文学科は英会話Iに代替できない)	LLI (ランゲージ・ラボラトリー)
英 語 1R	2			
英 会 話 I	2			
英 語 LL I	2	視聴覚教材を使用した語学教育		
ド イ ツ 語 1G	2	文 法	} 5カ国語のうちから入学手続の際指定した1カ国語1G・1Rの2科目を必修とすること。	
ド イ ツ 語 1R	2	講 読		
フ ラ ン ス 語 1G	2	文 法		
フ ラ ン ス 語 1R	2	講 読		
中 国 語 1G	2	文 法		
中 国 語 1R	2	講 読		
ス ペ イ ン 語 1G	2	文 法		
ス ペ イ ン 語 1R	2	講 読		
ロ シ ア 語 1G	2	文 法		
ロ シ ア 語 1R	2	講 読		

※英語科目内容

英語1G：意志表現と意志伝達の基礎を把握する。

英語1R：講読を通し内容と文構造の基本を把握する。

※「英語1R」の授業は月曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の学生手帳を参照）で行う。

2年次の履修

1年次で履修の2カ国語のうち、いずれかを第1外国語とし2AⅠ・2AⅡの2科目4単位を必修とすること。ただし英米文学科は英語を第1外国語とする。

授 業 科 目	単 位	科 目 内 容	授 業 科 目	単 位	科 目 内 容
英 語 2 A I	2		中 国 語 2 A I	2	講 読
英 語 2 A II	2		中 国 語 2 A II	2	講 読
ド イ ツ 語 2 A I	2	講 読	ス ペ イ ン 語 2 A I	2	講 読
ド イ ツ 語 2 A II	2	講 読	ス ペ イ ン 語 2 A II	2	講 読
フ ラ ン ス 語 2 A I	2	講 読	ロ シ ア 語 2 A I	2	講 読
フ ラ ン ス 語 2 A II	2	講 読	ロ シ ア 語 2 A II	2	講 読

※英語科目内容

英語2AⅠ：講読を通し、はば広い教養を修得する。

英語2AⅡ：意志表現と意志伝達能力を発展させ、応用力を修得する。

3年次の履修（英米文学科のみ）

授 業 科 目	単 位	科 目 内 容	履 修 科 目 数
英 語 3 A	2	講 読	3 Aを1科目必修

※「英語3A」の授業は学生番号によりクラス編成されているので、各自の学生番号に該当するクラスで履修すること。ただし所定のクラスで履修不可能な場合は、担当教員に申し出ること。

外国語科目履修上の注意

- イ. 外国語科目の組分けは、すべて授業時間表で指定するので、学生は自己の学科・学生番号（下4ケタ）により該当するクラスを履修すること。
- ロ. 1年次履修の外国語（英語と他の1カ国語）の中から第1外国語、第2外国語の別を学生自身が指定し、7月初旬に登録する。したがって1年次生は前期の授業で十分考慮の上登録すること。なお、英米文学科は英語を第1外国語とする。
- ハ. なお一層の語学教育を望む学生は、外国語随意科目を開講しているので進んで履修されたい。
- ニ. 不合格科目の再履修については、別に定める。
- ホ. 2年次（英米文学科は3年次）までに所定の単位を修得していなければならない。

3. 保健体育科目の履修方法

カリキュラム改訂に伴い、昭和60年度以降入学生より新カリキュラムを適用する。なお、昭和59年度以前入学生は、旧カリキュラムが適用される。

A. 60年度以降入学生適用

講義と実技に分かれる。講義は1年次に1科目2単位、実技は1年次1科目1単位〈体育実技Ⅰ〉、2年次1科目1単位〈体育実技Ⅱ〉の3科目4単位を必修とする。

	授 業 科 目	単 位	備 考
講 義	保健体育理論	2	1年次前期または後期
実 技	体育実技Ⅰ	1	1年次通年
	体育実技Ⅱ	1	2年次前期または後期

イ. 講義・体育実技Ⅰは玉川校舎で授業を行う。

ロ. 講義・体育実技Ⅰが1年次不合格となった者は2年次において「再履修クラス」を履修し単位を修得する。

※体育実技Ⅰについての種目の説明等で、1年次生は最初の授業・「再履修クラス」を履修する場合は教務部にて、それぞれ配布される「体育実技受講要領」を参照すること。

ハ. 体育実技Ⅱは次の授業形態のいずれかを履修し、単位を修得しなければならない。

A. 本校での前期または後期の体育実技Ⅱの授業

B. 前期(夏季休暇中)または後期(冬季休暇中)に実施される有料のシーズン・コースの授業

C. 前期(夏季休暇中)または後期(冬季休暇中)に実施される玉川校舎での集中授業

ニ. 体育実技Ⅱが2年次不合格となった者は3年次において体育実技Ⅱを再び履修し、単位を修得する。

※体育実技Ⅱについての種目の説明、シーズン・コース及び集中授業等の申込み方法については、教務部より配布される「体育実技受講要領」を参照すること。

ホ. 講義・実技とも2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

B. 59年度以前入学生適用

講義と実技に分かれ、1年次に2科目4単位を必修とする。

	授 業 科 目	単 位	備 考
講 義	保健体育理論	2	前期または後期
実 技	体 育 実 技	2	通 年

イ. 講義・実技とも1年次で不合格となった者は「再履修クラス」を履修し単位を修得する。

ロ. 講義・実技とも2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

ハ. 講義・実技とも1年次生は玉川校舎で授業を行う。

※実技についての種目の説明等で、1年次生は最初の授業・「再履修クラス」を履修する場合は教務部にて、それぞれ配布される「体育実技受講要領」を参照すること。

4. 基礎教育科目（必修）の履修方法

専門教育の基礎となる授業科目で各年次別履修順序は、次表のとおりである。

年次	国文学科		英米文学科		地理学科		歴史学科		社会学科	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
1 年 次	基礎国語学	4	英文学概論または米文学概論	4	基礎自然地理学	4	基礎歴史学	4	社会学概論	4
	基礎国文学	4	基礎英語ⅠA	2	基礎人文地理学	4			社会福祉概論	4
	基礎中国文学	4	基礎英語ⅠB(会話)	2					心理学概論	4
2 年 次			基礎英語ⅡA	2						
			基礎英語ⅡB(会話)	2						

(注意) 「基礎自然地理学」は「基礎地学(自然地理学)」を、「基礎人文地理学」は「基礎地理学(人文地理学)」を名称変更したものである。

5. 専門教育科目の履修方法

専門教育科目は必修科目と選択科目とに分かれ、それぞれ定められた単位を修得することになっている。履修する授業科目の選択については専門科目全般にわたって十分検討して履修すること。なお一度単位を修得した授業科目については再度履修することはできない。

専門教育科目の卒業所要単位数

	国文学科	英米文学科		地理学科	歴史学科	社会学科					
		58年度以降入学生適用	57年度以前入学生適用			57年度以降入学生適用			56年度以前入学生適用		
						社	福	心	社	福	心
必修科目	36(12)	28(7)	24(6)	16(6)	32(8)	48(12)	48(12)	28(8)	32(8)	36(9)	38(11)
選択科目	28	36	40	48	32	16	16	36	32	28	26
卒業論文	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
計	72	72	72	72	72	72	72	72	72	72	72

※ () 内の数字は科目数。

国文学科

必修科目 (44単位)

1 年 次 必 修			3 年 次 必 修		
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
国文学講読Ⅰ	2		国語学演習Ⅰ	2	1科目2単位選択必修 原則として卒業論文 に関連のある分野の 演習を履修すること
			国文学演習Ⅰ(上代)	2	
2 年 次 必 修			国文学演習Ⅰ(中古)	2	
国語学概論	4		国文学演習Ⅰ(中世)	2	
国文学概論	4		国文学演習Ⅰ(近世)	2	
国文学講読Ⅱ	2		国文学演習Ⅰ(近代)	2	
中国文学講読	2		4 年 次 必 修		
			国文学研究	4	
3 年 次 必 修			国文学史(上代)	4	1科目4単位選択必修 3年次で必修または 選択として履修した 科目以外を履修する
国文学史(上代)	4	1科目 4単位 選択必修	国文学史(中古)	4	
国文学史(中古)	4		国文学史(中世)	4	
国文学史(中世)	4		国文学史(近世)	4	
国文学史(近世)	4		国文学史(近代)	4	
国文学史(近代)	4		国語学演習Ⅱ	2	1科目2単位選択必修 卒業論文に関連のあ る分野の演習を履修 すること
国語学研究	4	国文学演習Ⅱ	2		
国文学講読Ⅲ	2	卒業論文	8	14頁参照	

(注意) 3年次で「国文学演習Ⅰ」を履修した者は原則として4年次も「国文学演習Ⅱ」を、また3年次で「国語学演習Ⅰ」を履修した者は4年次でも「国語学演習Ⅱ」を履修すること。

選択科目 (28単位以上)(2年次以降の履修科目)

	授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
A 群	上 代 文 学	4		国 学 史 特 講 Ⅱ	4	
	中 古 文 学	4		国 学 史 特 講 Ⅲ	4	
	中 世 文 学	4		国 学 史 特 講 Ⅳ	4	休講
	近 世 文 学	4		国 学 史 (上代)	4	} 選択科目として履修を希望する者は必修とした科目以外を3年次または4年次で履修すること
	近 代 文 学	4		国 学 史 (中古)	4	
	国 語 史	4	} 休講 隔年開講	国 学 史 (中世)	4	
	国 語 学 史	4		国 学 史 (近世)	4	
	文 学 概 論	4		国 学 史 (近代)	4	
	言 語 学 概 論	4		上 代 文 学 講 読	2	} 2年次生のみ履修すること
	有 職 故 実	4	休講	近 代 文 学 講 読	2	
	国 学 史 特 講 Ⅰ	4				

	授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
B 群	中 国 文 学	4		日 本 文 化 史 Ⅰ	4	} 休講 隔年開講
	中国文学演習	4		日 本 文 化 史 Ⅱ	4	
	中国文学概論	4		現 代 美 術	4	
	東 洋 思 想 研 究	4		書 道 実 習 Ⅰ	4	
	英 米 文 化	4	旧 外 国 文 学	書 道 実 習 Ⅱ	4	
	仏 教 概 論	4		美 術 史 概 説	4	
	日 本 史 概 説 Ⅰ	4	古代, 中世	美 術 史	2	
	日 本 史 概 説 Ⅱ	4	近世, 近代	書 道 史	2	
	日 本 民 俗 学	4		編 集 実 務	2	

(注意) 「国文学特講」のⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳは時代・履修順序等との関係はない。

「A群」より5科目以上, 「B群」より2科目以上進んで履修されたい。

英米文学科

必修科目

A. 58年度以降入学生適用 (36単位)

2 年 次 必 修			4 年 次 必 修		
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
英 語 学 概 論	4		卒 業 論 文	8	14頁参照
英 作 文 I	4		2 年次または 3 年次必修		
3 年 次 必 修			文学史 (英文学史Ⅰ) (英文学史Ⅱ) (米文学史)	8	2年次1科目 3年次1科目 計2科目選択 必修
音 声 学	4				
英 語 史	4				
シェイクスピア	4				

※「文学史」は2科目選択必修とし、残り1科目を専門選択科目として履修できない。

B. 57年度以前入学生適用 (32単位)

2 年 次 必 修			2 年次または 3 年次必修		
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
英 語 学 概 論	4		文学史 (英文学史Ⅰ) (英文学史Ⅱ) (米文学史)	4	1科目選択 必修
3 年 次 必 修					
音 声 学	4	旧英語学研究	3 年次または 4 年次必修		
英 語 史	4		批 評 論 研 究	4	
4 年 次 必 修			シェイクスピア	4	
卒 業 論 文	8	14頁参照			

選択科目

A. 58年度以降入学生適用 (36単位以上)

B. 57年度以前入学生適用 (40単位以上)

授 業 科 目	単 位	履 修 年 次	備 考	授 業 科 目	単 位	履 修 年 次	備 考
英 文 学 史 I	4	2・3・4	※イ 必修とした 科目以外を履修 すること	英 文 学 演 習 I (中世)	4	3・4	
英 文 学 史 II	4	2・3・4		英 文 学 演 習 II (英文学16, 17c.)	4	3・4	※ホ
米 文 学 史	4	2・3・4		英 文 学 演 習 IV (英文学18c.)	4	3・4	
英 文 学 特 講 I (英文学16, 17c.)	4	3・4		英 文 学 演 習 V (詩19, 20c.)	4	2・3・4	
英 文 学 特 講 II (英文学18c.)	4	3・4		英 文 学 演 習 VI (小説I 19c.)	4	3・4	
英 文 学 特 講 III (詩19, 20c.)	4	2・3・4		英 文 学 演 習 VII (小説II 20c.)	4	2・3・4	
英 文 学 特 講 IV (小説I 19c.)	4	2・3・4		英 文 学 演 習 VIII (批評19, 20c.)	4	3・4	
英 文 学 特 講 V (小説II 20c.)	4	2・3・4		米 文 学 演 習 I (詩)	4	2・3・4	
英 文 学 特 講 VI (批評19, 20c.)	4	3・4		米 文 学 演 習 II (小説I)	4	2・3・4	
米 文 学 特 講 I (詩)	4	2・3・4		米 文 学 演 習 III (小説II)	4	3・4	
米 文 学 特 講 II (小説I)	4	2・3・4		米 文 学 演 習 IV (小説III)	4	2・3・4	
米 文 学 特 講 III (小説II)	4	2・3・4		米 文 学 演 習 V (批評)	4	3・4	
米 文 学 特 講 IV (小説III)	4	2・3・4		英 米 演 劇 演 習	4	2・3・4	※へ
米 文 学 特 講 V (批評)	4	3・4		時 事 英 語	4	2・3・4	旧英米 時文研究
英 米 演 劇 特 講	4	2・3・4	※ロ	商 業 英 語	4	3・4	
英 作 文 I	4	3・4	※ハ	ラ テ ン 語 特 講	4	2・3・4	
英 米 語 学 演 習 (英語学)	4	3・4		英 米 文 化	4	2・3・4	旧外国文学
英 米 語 学 演 習 (英語史)	4	3・4		日 本 文 化 史 I	4	2・3・4	休講 } 隔年 開講
英 米 語 学 演 習 (英文法)	4	3・4		日 本 文 化 史 II	4	2・3・4	
英 米 語 学 演 習 (英作文II)	4	3・4	※ニ	現 代 美 術	4	2・3・4	
英 米 語 学 演 習 (英会話)	2	3・4					

※イ 57年度以前入学生適用

※ロ 57年度以前入学生で「英文学特講VII(演劇19, 20c.)」・「米文学特講VI(演劇)」をいずれか修得した者は、「英米演劇特講」を履修できない。

※ハ 57年度以前入学生適用 旧「英米語学演習(英作文)」

※ニ 58年度以降入学生適用

※ホ 57年度以前入学生で「英文学演習Ⅱ(英文学16c.)」・「英文学演習Ⅲ(英文学17c.)」をいずれか修得した者は、「英文学演習Ⅱ(英文学16, 17c.)」を履修できない。

※ヘ 57年度以前入学生で「英文学演習Ⅸ(演劇19, 20c.)」・「米文学演習Ⅵ(演劇)」をいずれか修得した者は、「英米演劇演習」を履修できない。

(注意) 同一科目は再度履修しても単位にはならない。

◇演習科目のとりかた

I(a) 2, 3, 4年次に演習1科目(4単位)ずつ、あわせて3科目(12単位)を極力履修すること。

(b) 2年次で履修しうる演習科目は1科目とする。

(c) 3年次で履修しうる演習科目は3科目以内とする。

(d) 4年次で履修しうる演習科目は2科目以内とする。

II(a) 各演習科目とも先着約50名で締切る。なお、教務部に「単位履修届」を提出する前に、受講希望の科目担任の先生に本人が直接届出て「単位履修届」に捺印を受けること。

(b) 担任の先生に届出る日・時・場所については教務部の掲示板に掲示するので注意すること。

(c) 57年度以前入学生で(旧)「英米語学演習(英作文)」の履修希望者は、「英作文Ⅰ」を履修すること。なお、その場合「英作文Ⅰ」の4講座のいずれかひとつを選択し、担任の先生に本人が直接届出て「単位履修届」に捺印を受けること。捺印の日時は、他の演習科目と同じとする。

地理学科

必修科目(24単位)

2年次必修		3年次必修		4年次必修	
授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
自然地理学実習 (地図学実習を含む)	2	地理学総論	4	地理学演習	4
人文地理学実習	2	野外巡検Ⅱ	2	卒業論文 (14頁参照)	8
野外巡検Ⅰ	2				

※「地理学総論」は「地理学研究法および地理学史」の名称変更。

(注意) 「地理学演習」および「野外巡検(Ⅰ・Ⅱ)」の履修にあたっては、地理学科研究室の指示に必ず従うこと。詳細は適時教務部および地理学教室の掲示板に掲示するので注意すること。

